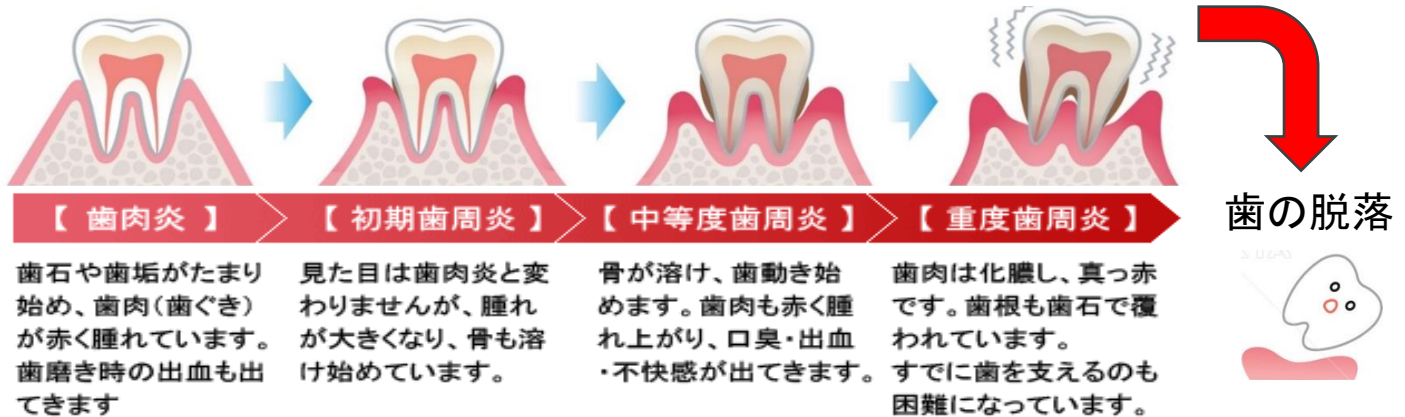




歯周病と全身疾患について

・歯周病の進行



・歯垢(プラーク)とバイオフィルムについて

歯垢(プラーク)とは、食物の残りではなく、細菌の塊です。ヒトのお口の中には約500種が住み着いています。歯の表面はペリクルという糖タンパクによって覆われており、これに細菌が付着していきます。多種の細菌が仲良しのグループを作りながら次第に多く付着していくと、その中に水路網という栄養や老廃物が運ばれる道を作ります。そして特定の細菌達がムコ多糖というネバネバの物質を産生し、外部からの刺激に対し防御するようになります。人があつまり、建物、道を作り、外壁を作り街を作る、細菌も社会をつくるんです。これがバイオフィルムです。イメージとしては台所の排水溝や、三角コーナーのヌメリも、バイオフィルムです。それをお口の中に入れたくないですね。

・歯周病と全身疾患

歯周病は全身の疾患と関連性があることが分かっています。列挙すると、**脳梗塞、心筋梗塞、動脈硬化、脳出血、糖尿病、心内膜炎、リウマチ、インフルエンザ、誤嚥性肺炎、アルツハイマー型認知症**などがあげられます。

歯周病菌がお口の中の血管から侵入し、全身を廻るようになると、血管内でプラークを形成し**動脈硬化**を引き起こします。それが、心臓であれば**狭心症、心筋梗塞**、脳であれば**脳梗塞**を引き起こします。

お口の健康を守ることは、全身の健康を守ることにつながるんですね。

